新緑の山路へ
半田山山開き2025

新緑の半田山

町のシンボル半田山（863m）の山開きが、4月29日に行われ、参加者約600人が山頂を目指して歩きました。

当日は、半田銀山太鼓銀栗保存会の祇園ばやしの演奏で幕が開き、益子神社による安全祈願祭で今年一年の登山者らの安全を祈りました。小雨が降る中、時折晴れ間も見え、みずみずしい新緑の登山道を一歩一歩踏みしめる参加者の皆さん。頂上付近にある半田沼がハート型に見えるビューポイントでは、白波が立つ沼とその先に広がる信達平野の絶景を写真におさめる姿がありました。半田山自然公園管理センター前では、全地区の住民自治協議会と赤十字奉仕団が炊き出し訓練の一環として豚汁を振る舞い、下山者らの疲れを癒しました。町制施行70周年となる桑折町をいつの時代も見つめてきた半田山で、記念すべき年を多くの皆さんとともに祝いました。

1・2_参加者には70周年記念キーホルダーや巾着バック、うぶかの郷入浴券などを配布　3_登山道を進む参加者　4_登山の安全を願う安全祈願祭　5_町内事業者による特産品販売も行われ大いににぎわう会場　6_ロープで木登りを楽しむツリーイング　7_豚汁を振る舞う赤十字奉仕団の皆さん　8_健康福祉課による体の健康状態チェックコーナー　9_日本有数のシラネアオイ群生地でもある半田山　10_ハートレイクを望む

桑折町一色に
「献上桃の郷」桑折町デー
2万人へ魅力発信

スタジアムを彩る「花咲け、未来」

今年で6回目となる桑折町冠協賛試合の町制施行70周年記念「献上桃の郷」桑折町デー・楽天イーグルス対千葉ロッテ戦が5月14日、仙台市の楽天モバイルパーク宮城で開かれました。試合は、4対0で楽天イーグルスが勝利し、記念すべき70周年に花を添えました。

当日は、約280人の町民が参加し、「花咲け、未来」と書かれた記念タオルを掲げながら選手らを応援。その様子がkhb東日本放送の中継内で映し出されるなど、約2万4千人の観客のほか、仙台圏域に向けて「献上桃の郷」桑折町をPRしました。

各所で町をPR

スタジアム正面広場に設けられた町ブースでは、町公式LINEを登録した人を対象に、町産桃や町内飲食店食事券などが当たる抽選会を実施したほか、桑折町振興公社による6次化商品などの販売を行い、長蛇の列ができるほどにぎわいました。また、特設ステージや同球団のFMラジオへ高橋宣博町長が出演。始球式では、町民の中から選ばれた菅野大暉さんが桃の被り物をして登場し、好投をみせました。盛大に開かれた桑折町デーは、JAふくしま未来や伊達果実農協の協力、福興産業㈱より観戦チケットの提供をいただくなど、町民や企業団体、町が一体となり、70周年を祝うとともに、町の魅力を多くの人に発信できた日となりました。

楽天野球団提供

1_見事な投球をみせた菅野さん　2_両チームへ桃を贈呈　3_声援をおくる町民の皆さん　4_当日使用された記念ボール　5_大型ビジョンに映る町広告　6_特設ステージでPRする高橋町長と町観光大使ホタピー　7_にぎわうガラポン抽選会

楽天野球団提供

楽天野球団提供